



**第 59 回日本作業療法学会
スペシャルセッション最優秀演題及び優秀演題決定**

最優秀演題賞

- SS- 3 「誰かのための作品」を作ることは接近的動機づけと副交感神経優位な状態を高める
ー作業療法の治療構造に関する神経生理学的検討ー
- 大類 淳矢 大阪保健医療大学保健医療学部, 大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科

優秀演題賞

- SS-1 生活活動時の動作指導が健常成人の心拍出量に与える影響：クロスオーバー比較試験
塩田 繁人 広島大学病院 診療支援部リハビリテーション部門
- SS-2 心臓大血管手術後リハビリテーションにおける早期からの作業療法士の関りが患者報告アウトカムに与える影響
佐藤 正彬 信州大学医学部保健学科, 信州大学大学院総合医理工学研究科,
信州大学医学部附属病院
- SS-4 リエイブルメントプログラムへの参加が高齢者の社会参加に与える影響：質的研究
山本 征邦 原宿リハビリテーション病院
- PN-1-52 地域在住者における睡眠と最重要作業の特性との関連
大川 阿紀子 大阪公立大学リハビリテーション学研究科博士後期課程
- PP-2-15 慢性広範囲疼痛における eLORETA を用いた脳波機能的結合の解析結果
上野 慶太 大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科